

国際社会起業家プログラム (修士課程)

International
Social Entrepreneurship
Program

ISEP

JICAとの連携による海外協力隊員向け特別学位プログラム



国際社会起業家プログラム（修士課程）

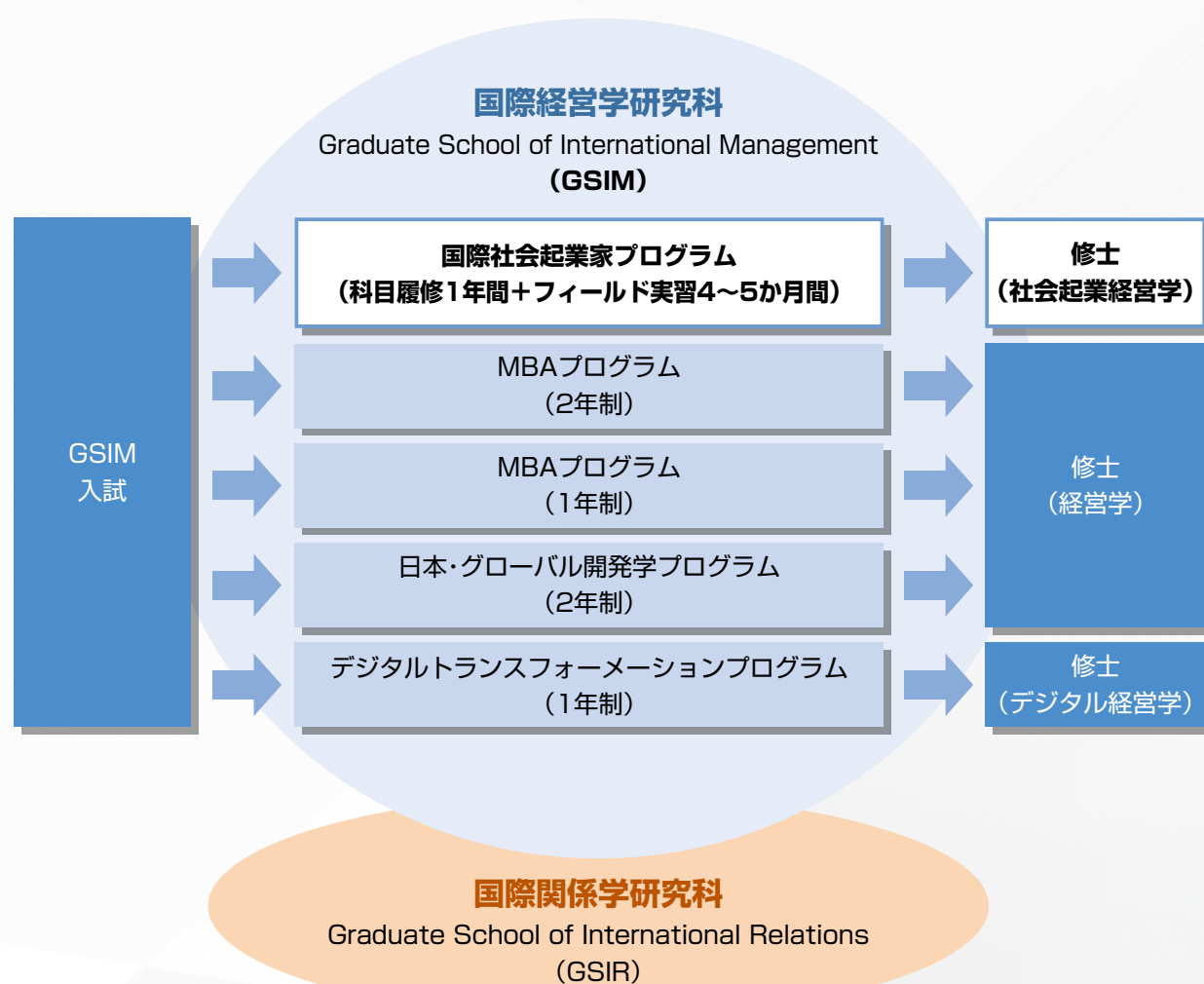
概 要

国際大学 (IUJ) 国際経営学研究科 (GSIM) は、2021 年 9 月、**国際社会起業家プログラム (ISEP)** を開設しました。本プログラムは、社会の様々な課題に対して自ら企業や NPO を立ち上げて解決していくことを志す方、または国際機関など支援組織のプロジェクトを通して、課題解決のための業務を行うことを希望する若者の教育を目的としています。

プログラム修了後のキャリアとしては、開発途上国や日本においてビジネスや NPO 活動を通じた課題解決に従事する社会起業家、様々な分野の課題を民間セクターとの連携で解決するプロジェクトに携わる国際公務員、専門家などが想定されます。JICA 海外協力隊 (JOCV) 参加と修士取得により、その後 JPO 応募という選択肢にもつながります。

ISEP の課程は、必修科目、選択科目、フィールド実習から構成され、修了に必要なとされる研究レポート執筆では、フィールド実習における現場での活動結果を取りまとめます。課程修了時には、**修士 (社会起業経営学) / Master of Social Entrepreneurship:MSE** の学位が授与されます。

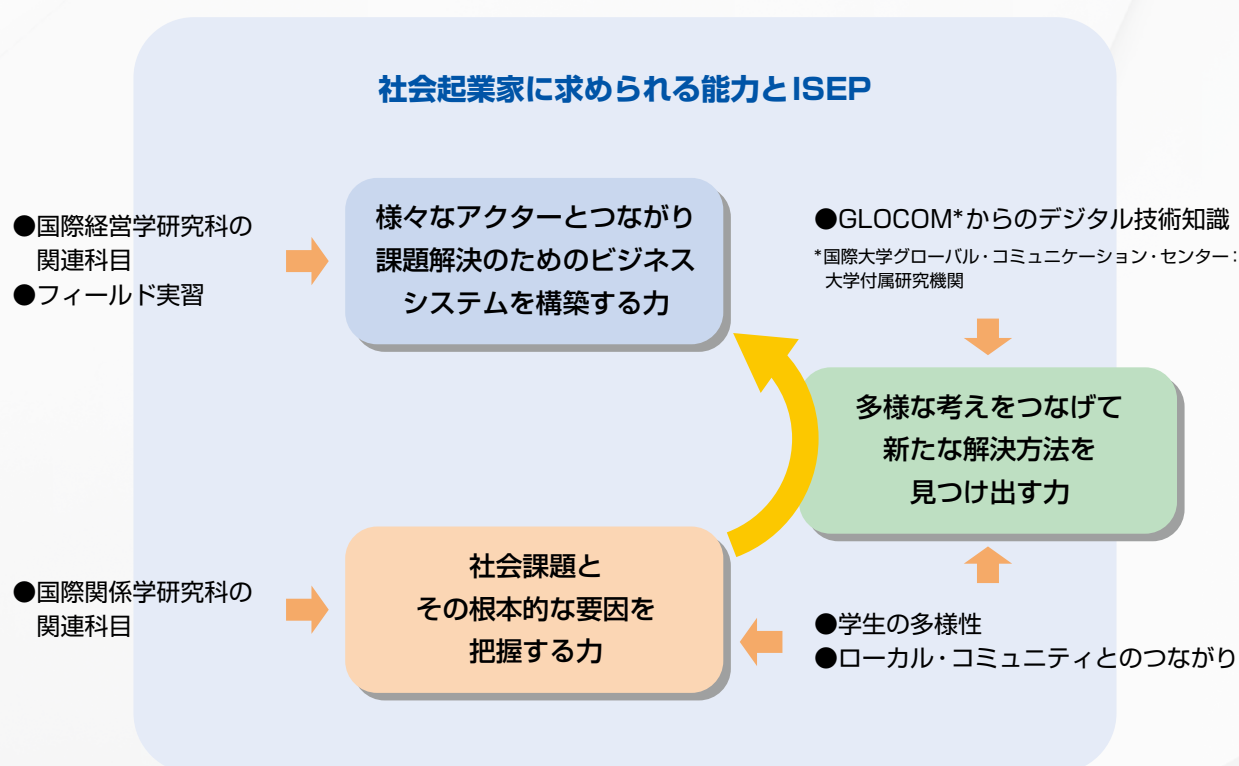
MSE は MBA とは異なり、社会起業家や国際協力専門家には多分野にまたがる総合的な考え方が求められる点を踏まえ、経営学をベースに置きつつ国際関係学もバランスよく学んだことを示す学位です。



国際社会起業家プログラムの目的

国連が定めた2030年までの持続可能な開発目標(SDGs)では、17のゴールに沿って169ものターゲットが設定されています。地球上で人々や環境が抱える問題は多様且つ複雑であり、従来の枠組みや方法にとらわれない新たな取り組みが必要とされているのです。

解決が困難な課題のために行動を起こすのは、一部の特殊な能力を持った人たちだけではありません。課題を取り巻く状況に接して素朴な疑問を持ち、何かできないかと思う誰もがその可能性を秘めています。IUJの国際社会起業家プログラムは、動き出したいと考えているそのような若者が、実際の行動を起こすために必要とされる知識、考え方、つながりを得る場を提供することを目的としています。



IUJでは、近い将来に社会起業家として活躍する人材には、主に以下の3つの能力が必要だと考えています。

1. 社会課題とその根本的な要因を把握する力
2. 多様な考えをつなげて新たな解決方法を見つけ出す力
3. 様々なアクターとつながり課題解決のためのビジネスシステムを構築する力

例えば課題の要因把握には、それぞれの国・地域における社会、政治、経済面での理解が必要になるケースが多く、新たな解決方法を見つけ出すには、各セクターの技術とデジタル技術などをつなげることも必要とされるでしょう。また、持続的に機能・発展していく組織を構築するには経営の知識が不可欠です。

ISEPでは、経営学・国際関係学の学びに加え、人種や国籍も多様な学生が集うグローバルな環境に身を置き、キャンパスがある南魚沼市や新潟県など日本のローカル・コミュニティとのつながりを活かすことで、3つの能力を身に付けるためのサポートを行っていきます。

IUJで得られるリソースを存分に活用して、皆さんが取り組む社会課題の解決に向けて、次なる一歩を踏み出してください。

国際社会起業家プログラムの特徴

海外協力隊活動と学位取得のデュアル・プログラム



IUJはSDGsの達成等に向けて、世界が抱える開発課題の解決を牽引する将来のリーダー・国際人材の育成を目的として、様々な国での現場活動と大学院での学びを連携させて、将来の目標達成をサポートしていきます。

具体的には、JICAが派遣する海外協力隊員としての活動と学位取得を同時並行で進めることが可能なプログラムが設計されています。

フィールドでの事業開始準備・アイデアの検証が組み込まれた実践重視のプログラム

学位取得に必須のフィールド実習は、論文を執筆する研究のための調査ではありません。

フィールド実習に先立ち、まずは指導教員の個別指導を受ける特別演習を通して、活動場所での社会課題解決アイデアを実施するためのビジネスプランを立案します。

その上で、実際にビジネスプランを実現するための現地でのネットワーク作り、解決手段としての製品・サービスのプロトタイプによる検証と改善点の明確化などを行うことがフィールド実習の目的です。

事業を始めるための準備を在学中に行うことにより、本格的に社会起業家として活動する際のリスクを軽減することに主眼が置かれています。

地域コミュニティとのつながりで課題解決のためのアイデア実現を加速するプログラム

日本有数の米どころとして知られる南魚沼市にあるIUJの広大な敷地の一部を活用し、近隣農家とサステナブルな農法を自ら体験する他、課題解決のためのプロトタイプ製品製作で、ものづくりが盛んな燕三条の地域企業と連携します。

地域コミュニティとのつながりから、学生が様々な分野における課題解決の方法を探索してアイデアを広げた上で、深化させていくプロセスをサポートします。



科目一覧

A. 必修科目

1. 企業の社会的責任 (CSR) 論
2. 新興市場戦略論
3. マーケティング・マネジメント
4. 財務会計学
5. レジリエントな情報システムデザインとマネジメント
6. 経営戦略

C. フィールド実習

共通テーマ

社会課題解決のための事業立ち上げプロジェクトの計画及びその実装

学位取得のためには研究レポートの提出が必要です。ただし、その内容は事業準備と検証を主に行うフィールド実習の結果をまとめるものであり、論文とは異なります。

フィールド実習実施場所は、日本国内と海外からご自身の活動内容に即して決定します。

International Organization Professionals Focus (IOPF)

IUJでは、国際機関と関連がある指定された科目を履修し10単位以上取得すると、修士学位とは別に **IOPF Certificate** が授与されます。これにより国際機関に関連した科目を一定以上履修したことが証明されます。

B. 選択科目

1. ビジネスのための人工知能
2. ビジネスに役立つ意思決定と業績評価
3. 官民におけるDXの実践
4. デジタルプラットフォームとデジタルビジネスモデル
5. デジタル・サプライ・チェーン・マネジメント
6. 起業とベンチャーファイナンス
7. 起業家精神とイノベーション
8. 起業家精神と小事業開発
9. ファイナンスとフィンテック
10. リーダーシップ
11. デジタル・トランスフォーメーションのマネジメント
12. 日本のものづくり経営
13. オペレーションズ・マネジメント
14. 組織行動論
15. スマートシティ
16. サステナビリティ・トランスフォーメーション戦略
17. 農業開発と資源収入管理
18. 開発政策・プログラムの分析
19. 開発経済学
20. 開発政策とグローバル化
21. 対外政策決定論
22. 人権問題
23. 国際機構論
24. 国際政治経済論
25. 国際経営
26. 国際政治学
27. 日本の国際協力政策
28. 政策評価論
29. 政治制度とガバナンス
30. 公共セクターの人的資源管理論
31. 経済開発における政府と起業家の役割

* 科目等詳細については変更になることがあります。

課程修了要件

単位取得要件	
必修科目	11単位
選択科目	17単位
フィールド実習	4単位
リサーチ・セミナー	2単位
計	34単位



JICA 海外協力隊との連携

ISEPの対象者は、JICA 海外協力隊員としての活動を既に終えられた方、現在隊員として活動中の方、または既に JICA 海外協力隊に合格した派遣前の方のみです。

活動を終えた方、活動中の方は Track A、既に JICA 協力隊に合格した派遣前の方は Track B として、以下に一般的な履修パターンを示します。現在従事されている仕事の都合により、開始時期がずれることも考えられますので、具体的には個別に教員との相談を経て決定していきます。

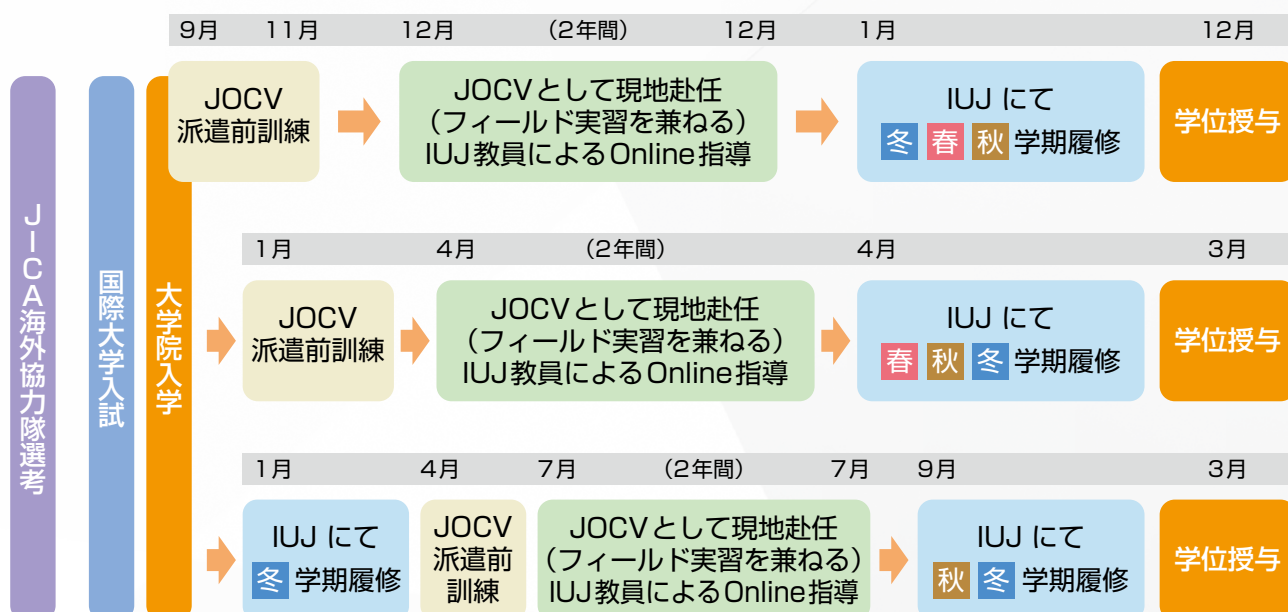
ISEP への入学は、協力隊派遣国からの帰国、派遣前訓練への参加時期との兼ね合いで、時間的ロスを可能な限り短くできるよう、9月、1月のいずれでも可能になるよう設定されています。

Track Aにおける履修パターン例



* Track Aのフィールド実習はJOCV短期派遣または日本国内での活動を想定しています。

Track Bにおける履修パターン例（JICA 海外協力隊 春募集の場合）



* 秋募集にも対応したパターンがありますので、個別にご相談ください。

ISEP 学生の声

浅井 梢さん 2024年8月修了
2017年3次隊、環境教育、ドミニカ共和国

ISEPはソーシャルビジネスの起業をはじめ、国際協力関連の進路を考えている人にとって、国際経営と国際関係（国際開発、外交政策等）をバランスよく学べるプログラムだと思います。自分の関心に合わせて履修科目を選択でき、関心分野を深化させることができます。知識と経験豊かな教授陣による指導のもとに、約70カ国から集まったクラスメイトとのディスカッションやグループワークはグローバルな視点だけでなく合意形成力や発言力、リーダーシップなど、国際的な環境で働く力が養われます。国際経営学研究科ではビジネスに必要な基本知識の習得と多様な社会人経験を持つクラスメイトとケーススタディを通して実践的に学びます。国際関係学研究科では、日本ではあまり触れられないグローバルサウスのリーダーたちの意見に触れられ、世界における日本の位置やアプローチの仕方を考えられる貴重な機会となり、また日本が戦後どのように発展し、国際社会に貢献し関わってきたのかという自国に対する理解も深まりました。

そして、IUJのキャンパスがある南魚沼市はとても自然が美しい場所です。学生の約9割が留学生で全寮制のため、海外にいる時以上に活発に国際交流がなされる場所かもしれません。共に学び、フィールドワークやスポーツ、文化イベント等を通して育まれた友情と世界に広がるネットワークは、公私ともに貴重な財産となると思います。

濃密なプログラムで、英語環境で1年で修士が取得できるISEPは大変ユニークで魅力的だと思います。JICA海外協力隊派遣後にキャリアチェンジを考えている方、或いは派遣中の活動をより充実させたい方にぜひお勧めしたいプログラムです。



修了式を終えて、クラスメイトや後輩とパチリ！

国際大学 (IUJ) では

国際経営学研究科の**経営に関する広範囲な科目のバリエーション**により、
自分自身の問題意識に沿った履修組み立てができる

国際関係学研究科の科目も選択でき、世界情勢や歴史観に基づいた分析視点が持てる

アジアやアフリカを中心とした海外からの留学生と学ぶ異文化環境により、
グローバルな視点で課題解決のための思考訓練ができる

国際開発の標準語である英語で授業・研究を行うことにより、日本の外へ直接発信できる

世界のデータベースにアクセスできる図書館システムが随時利用可能なため、
最新の情報を手に入れられる

学位取得に必要な費用

入 学 金： 300,000 円

授 業 料： 3,000,000 円（3 学期間＋フィールド実習）*

* 本プログラムへの入学者に対してIUJからNakayama 50奨学金＜授業料50%免除＞を付与

（JICA海外協力隊帰国隊員向け奨学金の応募資格者は、その奨学金に是非応募ください。応募を条件としてNakayama 50奨学金を付与します。同奨学金が得られない方は、Nakayama 90奨学金＜授業料90%免除＞を付与します）

学生寮費： 39,000 円／月（単身）

光 熱 費（温水使用料を含む）：5,000 円／月（概算）

出願資格・要件

- JOCVの活動を終えて帰国した者（活動中隊員を含む）、またはJOCVに合格した派遣前の者
- 上記に加えて、大学学部課程を卒業した者
- オンラインによる出願書類提出
- 英語の成績証明書（TOEIC/TOEFL 等）

国際社会起業家プログラムに出願を希望される方は、他プログラムの受験者とは手続きが異なります。まずは以下のメールアドレスまで次の情報をお送りください。連絡先メールアドレスに出願用の ID アカウントを入試係より送信します。送信された ID アカウントを使用して出願締め切り日までにオンライン出願を完了していただきます。

- ・氏名（日本語と英語を併記）
- ・JICA 海外協力隊に参加した際の隊次、職種、国名
- ・連絡先メールアドレス
- ・希望入学時期（9 月または1 月）

送付先： admgsim@iuj.ac.jp（国際経営学研究科 入試係）

特別入試について

- 出願書類
 - 1) パスポートのコピーまたは顔写真
 - 2) 志望理由書
 - 3) 研究テーマ
 - 4) 出身大学証明書：成績証明書および課程修了・学位取得証明書
 - 5) TOEFL、IELTS あるいは TOEIC の成績証明書
 - 6) GMAT あるいは GRE の成績証明書（提出は任意）
 上記 2) 3) 4) は英語でご提出ください。

- 検定料（国内受験、海外受験共通）：15,000 円

出願書類と検定料を受領後に面接を実施いたします。

- オンライン面接

※入試日程については募集要項にてご確認ください。

「国際社会起業家プログラム」サイトよりアクセスできます。

